

廃食用油を再利用 キャンドルづくり

三郷



廃食用油でキャンドルをつくる子どもたち

人形と額縁
植木屋人形店
電話 陸谷九六二七八三

環境問題について考える機会にしておらおうと、廃食用油を再利用した「親子でキャンドルづくり講習会」が12日、三郷市の北公民館調理室で開催され、小学生20人、保護者6人が参加した。みさと環境ネットワーク（村岡隆光代表）、三郷市環境保全課が主催、レス

トランやファストフード店などの廃食用油の回収・運搬業を営む（株）神戸商店（神戸純社長）が材料など提供し協力した。約1・5歳の賞味期限切れのサラダ油を鍋で温め、プラスチック容器に約15gずつ入れ、色とどりの顔料を加えて着色、芯を付けて凝固剤を入れてアロマオイルやハーブエキスを香り付けをする。仕上げに星型やハートなどの細かい飾りを

ちりばめて、一分ほど待つと固まり出来上がり。一人2個ずつチャレンジ、子どもたちは好きな色で3色に重ねたりグラデーションにしたり、思い思いのキャンドルに仕上げていた。小2と小4の子どもを連れて参加した、新井ミエさん（36）は「三郷市彦糸在住は、前回作ったときも、テレビを消してキャンドルナイトを楽しみました。家族の会話も

弾み、1週間に1度はやりたいですね」と話していた。